

## [02\_01]九州大学大型計算機センター広報 : 2(1)

<https://doi.org/10.15017/4843902>

---

出版情報 : 九州大学大型計算機センター広報. 2 (1), pp.1-56, 1969-02-26. 九州大学大型計算機センター

バージョン :

権利関係 :



## 講習会アンケート

九州大学大型計算機センターでは、下記のように利用者講習会を開催いたしました。その際、受講者にアンケートを提出していただきました。その結果を以下のようにまとめてみました。

第1回利用者講習会	(初心者用 ALGOL)	11月 4日～11月 8日
第2回	" (初心者用 FORTRAN)	11月11日～11月15日
第3回	" (中級者用 ALGOL)	12月 4日～12月 6日
第4回	" (中級者用 FORTRAN)	12月11日～12月13日

## (1) 資料について

- テキストが高すぎる。
- 資料が不足した(27%)
- テキストは講習会の前に入手できるようにしてほしい。
- テキストは紙質が悪くてもよいから無料にしてほしい。
- 講習会用にテキストを作成してほしい。
- 具体的な研究を例にとったやさしい問題集を作ってほしい。

◎マニュアルは、富士通側で作成しているものですが、今後センターでテキストを作成するかどうかについては検討中です。

マニュアルは富士通本社、営業所のほか、九大本部地区の生協書籍部でも販売いたしておりますのでご利用ください。

マニュアルの各々の内容については—資料 51 ページ 利用者用マニュアルについて—を参照してください。

## (2) 期間について

- 期間が長すぎた(22%)
- 休暇中に開催してほしい。
- 一日中使用するのではなく、午後など一定時間を区切って期間を長くしてほしい。
- 期間を3日位にして1～2日おきに開いてほしい。
- 連続5日間完全に職場もしくは教室を離れるのは困難であるから、隔日とか、毎週1～2回、計5～6回の方法を検討してください。
- 夕方5時過ぎから2時間程度で期間を長くする方法を検討してほしい。
- 夜間の開催を希望します。

◎今後の講習会は、特殊な場合を除き、受講者の時間的束縛を出来るだけ少なくして、かつ、

内容説明、演習、実習の時間を充分にとれるような日程を考慮した結果、1回3日間の予定で開催いたします。初心者に関しても3日間の日程で基本的プログラミングはできるようになるのに充分だと思われまます。

センターではテープレコーダーによる初心者教育もあわせて検討しております。このテープを借出すことによって夜間開催を希望される人など各グループごとに自由な時間に勉強されることができると思われまます。

### (3) 内容・進め方について

- 内容がやさしすぎた(11%)
- 内容がむずかしすぎた(15%)
- 進め方が適当でない(15%)
- 演習時間をもっと多くとってほしい。
- 未経験者にはもっとわかりやすく説明してほしい。
- プログラミングのみでなく計算機の使用方法についても講義してほしい。
- 内容をコンパクトにして短時間に行なり方がよい。演習時間が多すぎる。
- 講師は1人でなく複数が望ましく、演習時において質問しやすい状態を作ってほしい。
- グループ演習の時間を加えてほしい。

◎利用者の程度によって講習会を開催するように努力しております。利用者講習会は全くの初心者に対して行なりもの、ある程度の経験者を対象としたものと区分して開催します。また各講習会によって内容も異なりますので、受講希望者は程度に応じた講習会に出席されるようお願いいたします。

### (4) 会場について

- 期間中会場を変えなくて良い方法をとってほしい。
- 机がせますぎる。
- 受講者数とつりあった会場を考えてほしい。
- 受講者は工学部所属が多いと思われるので、本部地区で開いてほしい。
- 受講者に比べ広い場所だったので寒い。
- 飛行機の音がやかましいので、できるだけ静かな講義室でやって欲しい。

◎本センターが出来あがった時点においては、センター建物内の会議室等を利用して開催する予定ですが、現在の状態では他の施設を借用して開く以外に方法がありません。利用者の皆様にはご迷惑をおかけしますがご了承ください。

### (5) 今後の講習会について

- 順次程度をあげた講習会を開いてほしい。
- プログラムの書き方の講習会を開いてほしい。

- 受講者数を25～30名にして回数を多くしてほしい。
- 実際にプログラムを計算機にかけるような実習を加えてほしい。
- 講習会のP.R.が不足している。

◎利用者講習会を初級、中級と分け、初級は全く計算機を利用した経験のない人を対象に、中級はある程度の経験のある人を対象にした内容を予定しています。  
また講習会で作成したプログラムを実際に計算機に通してみるといった実習を計画しております。

#### (6) その他

- センターに常時プログラム指導員をおいて、いつでも相談に応じられる体制を作ってほしい。
- センターを利用する地区の九大以外の機関にも指導員を派遣してほしい。
- 九大以外においても講習会を開いてほしい。

◎利用者がプログラム上の問題、センター利用の手続き上の問題等について相談することができるようにプログラム指導員をおきます。プログラム指導員は各連絡所に1名以上おくように計画しています。相談に関する場所および時間については連絡所によって異なります。センターのプログラム相談室には九大内のプログラム指導員とセンターの相談員とが常勤して利用者の相談に応じることができるように予定しています。  
遠方の連絡所における出張講習会も開催するように検討いたしております。